

富士を擁し、快適を形に。

# 橋をデザインする



イメージ図



施工後



イメージ図



施工後

富士山の景観・眺望に配慮したデザインと色を採用（橋梁本体はブラウンベージュ：10YR 5/1）  
構造は、シンプルな桁橋とし、橋脚の本数を減らすため鋼材による桁としました。

## 橋の種類

### トラス橋



トラス橋：鉄道などの橋に多く使われています。三角形の骨組み（トラス）を組み合わせた桁で、四角形と比較しても振動で橋の形を変えないようにしています。

### 吊（斜張）橋



吊橋：橋をケーブルで引っ張って、重さを分散することで橋の足（橋脚）の数を減らすことができます。海に架かる長大橋などで用いられることが多い構造です。

### アーチ橋



アーチ橋：橋の重さをアーチ部材の圧縮力で支える構造で、橋の足（橋脚）の数を減らすことができます。

### けた桁橋

### 富士川かりがね橋



けた橋：最もポピュラーな橋の形です。橋の重さを橋の足（橋脚）で支える構造です。橋の重さを軽くするために、けたの形も箱型、I型など様々な種類があります。

橋桁は7径間連続鋼床版箱桁構造を採用。コンクリートと比較して軽量の鋼材による橋桁。  
橋桁の架設には、国内に20台程度しかない750t吊クローラクレーンを使用。